



林 声

2020
7 月号



倉敷市真備町は、美しい竹林が点在しており、岡山県でも有数のタケノコの産地です。

タケノコ生産者の一人、小田^{おだひろし}博士さんは、平成30年7月豪雨災害によりご自宅が被災されながらも、先祖から引き継いだ竹林を大切に管理し、タケノコの生産に励まれています。（詳細はP 2 に記載）

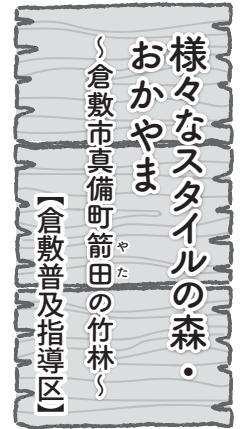
目 次

様々なスタイルの森・おかやま ～倉敷市真備町 ^{やた} 箭田の竹林～	2	林業技能講習等情報	10
普及指導区の情報（高粱普及指導区）	3	林産物市況	11
県産材利用促進対策事業について	4	森林・林業施設の紹介 （西粟倉村・あわくら会館）	14
ニューフェイスです！ （岡山森林組合 岡本 佑一さん）	5		
森林研究所だより（令和2年度の主な研究課題）	6		
特用林産物の新顔紹介（県内のトリュフ）	7		
林業労働の安全・安心の確保や労働強度軽減を 図るための装備・器具等の紹介	8		
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける林業・木材産業者 への支援策について/フォレストレンジャーの活動紹介	9		

【ほっけ～木になる情報】

Q. (公社)おかやまの森
整備公社が開設している
「人材バンク」とは、
何ですか？





一 はじめに

倉敷市真備町は良質なタケノコを生産する岡山県でも有数の生産地です。「真備町史」によると、今から約180年前に箭田（やた）地区の妹尾嘉吉という人が、今の総社市下倉地区から、孟宗竹3本ほどを持ち帰って植えたことが、タケノコ栽培の始まりといわれています。タケノコの味は土で決まると言われており、真備の土は極上のタケノコを育てるのに最も適した粘土質の赤土が多く、また気候にも恵まれているため、栽培が盛んになったそうです。



孟宗竹栽培元祖之碑

二 小田博士氏の竹林について

今回紹介する小田博士さんは、真備町有井地区で電気工務店を経営する傍ら、自宅から車で約5分程度離れた箭田地区に約三反の竹林を所有し、タケノコの生産をされています。

小田さんは小学生の頃にお父様を亡くされ、その頃はお母様が中心となって竹林を管理し、タケノコを収穫されていたそうです。そして二十歳の頃から本格的に手伝いはじめ、結婚後は奥様と二人三脚で「ヤブ（小田さん曰く）」を管理し、タケノコを生産されているとのこと。

三 タケノコの生産

タケノコは3月下旬から5月上旬が収穫時期ですが、年間を通じての竹林管理がとても重要であり、収穫後の礼肥、秋の元肥が味や色

味に大きく関係するとのこと。また、一般的には秋の土入れや敷藁（しきわら）をすることで軟化部分の多いタケノコが生産できると言われていますが、足場の悪い竹林の中を一輪車で土などを運ぶ作業は大変な重労働であり、四十年ほど前からその作業は行っていないそうです。

す。「農業は機械化が進んでいるのに、この作業は子ども頃から全く変わっていない」と嘆いておられました。今は施肥と竹の間引き、そしてタケノコにはならない「根ぶち」と呼ばれる地表に現れた地下茎の側芽をこまめに刈り取ることにより、竹林の管理に努めているとのこと。



取材時(5月11日)に収穫したタケノコ

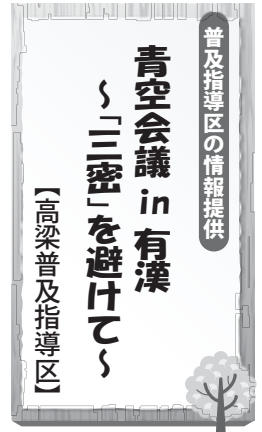
多い時には約300kgの収穫があったそうですが、現在は徐々に減ってきているとのことでした。今後のことについてお伺いすると「先祖からの竹林は守っていきたくいし、その一念でこの歳になってもがんばってきた。ただ、竹林を維持していくのは重労働で大変な作業だ」とその難しさを語っておられました。

小田さんは真備竹生産組合の理事を長年勤められ、地域のタケノコ生産の振興に努められてきました。毎年4月中旬には同組合が中心となりJA晴れの国岡山真備西支店駐車場で「筍まつり」が開催されます。甘い香りと柔らかい歯ざわりが特徴の真備町産タケノコを求め多くの人で賑わいますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり「来年こそは、おいしいタケノコをたくさん準備し、多くの方に訪れて頂きたい」と意気込んでおられました。

四 おわりに

岡山県のタケノコ生産量は186トンであり、その約98%が当普及指導区管内の倉敷市産です。一方、高齢化や担い手不足により放置された竹林も増加しており、竹林が荒廃すれば土砂崩壊防止機能や水源涵養機能などの低下につながり、災害のリスクが高まります。小田さんのように地域でがんばっておられる方々を今後とも支援していくことが、森林の公益的機能を維持し、美しい竹林を後世に残していくことに繋がっていくと感じました。

(倉敷普及指導区 岡川 勝利)



一 はじめに

高梁普及指導区は、県の中西部に位置する高梁市を区域としています。森林面積は約43千ha、森林率は78%ですが、人工林率は23%と低く、マツや広葉樹等の天然林が多くを占めています。

今年度は、その中でも比較的人工林がまとまっている有漢地域で森林経営管理法に基づく、森林所有者への意向調査や現地調査が実施される予定になっています。

また、有漢地域の市有林では、皆伐跡地への植栽や、人工林での保育・搬出間伐などの森林整備が予定されており、当普及指導区では、それらが円滑に実施されるよう支援していくこととしています。

二 青空会議開催の経緯

今年度のような取組に向けて、市、森林組合及び普及指導員による打合会議を年度当初に計画していました。

しかし、新型コロナウイルス感

染症の全国的な流行により、当県においても緊急事態宣言が発令されたため、屋内に集まっつての打合せができない状況になりました。そこで、有漢地域の市有林に集まり、「三密」を避けた「青空会議」を開催し、高梁市の重点施策である次の内容を協議するにしました。

三 協議内容

(一) 森林経営管理制度



協議の様子

高梁市では、経営管理制度に取り組むに当たり、平成30年7月豪雨による甚大な被害を教訓として、災害に強い森林づくりを主軸とした「高梁市経営管理制度の取組方針」を作成しました。今後、この

方針に基づき、森林所有者による管理が困難な人工林において、森林整備等を進めていく予定です。現在は、市から委託を受けた森林組合が、長期間森林施業が行われていない人工林を森林簿から抽出する作業をしており、進捗状況や作業方法等を確認しました。

意向調査の実施時期については、森林所有者だけでなく、子や孫も含めて今後の意向を家族で検討してもらえるよう、帰省者が多い盆前後を調査期間としました。7月末頃のアンケート送付に向けて、内容の確認や市の広報誌等での周知を行うことなどを決めました。

(二) 市有林の森林整備

有漢地域の市有林では、森林経営計画を作成し、造林補助金等を活用しながら、森林整備を進めることにしました。森林経営計画の作成に当たっては、5年間の計画期間で実行可能な森林整備は何かを検討しました。

また、皆伐跡地が早期に更新できるよう、地拵えや植え付け、下刈方法について、現地を確認しながら検討を行いました。

その他、間伐を始め、マツ林における樹幹注入や危険木の伐倒等、今年度の全体計画を確認しました。



現地を確認しながらの検討

三 おわりに

当普及指導区では、毎年、年度初めに打合会議を開催しています。

今回はやむを得ず現地での開催となりましたが、実際に森林を目の前にすると、森林の雄大さと森林を管理する方々の苦勞を体感でき、有意義な会議になりました。

今年度、高梁市では、意向調査の本格的な始動や、多様な森林整備など、多くの事業が計画されていることから、市・森林組合・普及指導員が一丸となつて「災害に強い森林づくり」を進めていきたいと思ひます。

(高梁普及指導区 渡邊亜矢子)

県産材利用促進 対策事業について

【はじめに】

木材は、身の回りの生活用品から住宅や大規模建築物に至るまで様々なところに利用されています。木材を長く利用することは、二酸化炭素を木材として固定することから、地球温暖化防止につながることに、再生可能な資源であることから、循環型社会の構築に貢献することにもなります。

県では、県産材利用促進指針に基づき、県産森林認証材等を利用した住宅への助成のほか、公共建築物等への利用促進、国内外への販路拡大などの県産材需要拡大対策を総合的に実施しています。

【県産材利用促進対策事業の実績】

このうち、「県産材利用促進対策事業」では、多数の集客が見込まれるなどPR効果の高い施設において、CLT^(注)などの県産材を利用した建築物の設計、木造化内装等の木質化及び木製品の導入に必要な経費の一部を助成しています。(林声第471号参照)

昨年度は、設計7件、木造化4

件、木質化11件、木製品導入44件を支援し、県産材利用量は184立法材(うちCLT35立法材)となっています。

本事業での主な県産材利用事例をご紹介します。

○木造化の事例(写真①・②)

木材は、他の材料と比較して、軽い割に強いという特徴があり、その特性を生かして建築物の構造材として利用されています。①、②の建築物では、柱・土台・梁などの構造材に木材がふんだんに使用されており、その一部にはCLTも活用されています。

○木質化の事例(写真③・④)

木材は調湿性や断熱性に優れるほか、衝撃に対して適度に変形する等の性質があり、心地よい空間を形成することから内外装にも利用されています。

③は、児童クラブの床にヒノキ材を使用しており、児童が直接、木材に触れることのできる心地よい室内空間となっています。また、④は、江戸時代の邸宅を改修した観光宿泊施設ですが、雨戸等の修繕において、建築当時の外観を損なうことのないよう工夫して木材が使用されています。

○木製品の事例(写真⑤、⑥)

肌触りや見た目、香り、軽さと



②昭和化学工業 事務所
(木造化施設・一部CLT使用)



①岡山県森林組合連合会勝山支所
(木造化施設・一部CLT使用)



④治部邸(雨戸等)



③河辺小児童クラブ(床等)



⑥もみの木保育園
(テーブル・イスの導入)



⑤岡山商科大学付属高等学校
(テーブル・イスの導入)

強度といった木材の特長を生かし、テーブル、イス、書架等の木製品としても利用されています。

⑤は、高校の図書室に設置されたミーティングテーブルと椅子、⑥は、保育園に取り入れられた園児用のテーブルと椅子であり、生徒、園児らが木製品に親しみを持って学習環境、生活環境となっています。

【最後に】

県では、林業・木材産業を活性化し、森林の適正な整備を促進するため、今後とも、県産材の需要拡大に向けて、様々な取組を進めてまいります。

(林政課林業木材班)

注: CLT (Cross Laminated Timber) は、ラミナ(挽き板)を直交積層した木質建材です。立てれば柱と壁、寝かせれば床と梁の役目を果たし、シンプルに建築物を建てられるのが特徴です。

「ニューフェイスです！」

岡山森林組合

岡本 佑一さん (38歳)

今回は、岡山森林組合のニューフェイス、岡本佑一さんをご紹介します。岡本さんは現業職員として平成31年4月から勤務されており、林業現場での作業経験は1年少々となりました。



岡山森林組合 岡本 佑一さん

一 経歴

岡本さんは、岡山市旧御津町のご出身で高校を卒業後、建築を専門的に学ばれ、岡山市内の住宅会社で新築・リフォームの現場監督や営業をされていました。やりが

いを感じつつも、何か技術が身につく職業の方が良いのではないかとこの思いが起こってきたそうです。そのような中、お父様の持家が森林組合事務所の近くにあり、たことや奥様が自然が好きということもあり、ご家族に相談の上、岡山森林組合で働くことを心に決めたそうです。しかし、いきなり岡山森林組合に行つて、受け入れてもらえなかつたらという不安があつたため、情報収集も兼ねて津山市林業担い手サポート協議会が主催する津山市林業体験・就業相談会に参加・相談し、現職場への就職を決められたとのこと。

二 仕事の内容

岡本さんは現業職員として採用され、造林班に配属されました。最初の仕事は植栽で、苗袋と鍬を持って山に行きましたが、ガラ(石)や笹が多い条件の悪い場所で大変だったとのこと。次が除伐の現場でしたが、急峻で太い木も多く、ベテランの先輩方が刈り払い機でバリバリ草木を刈っているのを見て驚いたそうです。しかし1年以上経つた現在は、搬出間伐以外は一通り経験し、驚くことも少なくなってきたそうです。また、昨年秋頃から笹刈での刈り

払いにも取り組んでいるとのこと、着実に力をつけていっているようにお見受けしました。



愛用の笹刈等を見せてくれた岡本さん

三 今後の抱負等について

「やりがいを感じるときは」との問いに、「作業内容に関わらず、作業後の状況を見たときや、また、笹刈でもきれいに切られるようになるなど自分の上達を感じたとき」と答えてくれました。今後の抱負については、「支障木伐採を請け負うことがあるため、そういうときに高所作業車を使わなくても木を伐られるようツリークライミングの技術を身につけられたら

よいと思つている。高性能林業機械に興味はあるが、残念ながら南部の現場ではあまり使うことはない。」と話されました。

また、「上司の班長は『伐つた分は植えないといけない』という考えなので、植えて育てることが今後メインとなってくるのかも」とも話されました。

プライベートでは、お父様が購入した薪ストーブが倉庫にあつたとのことで、次の冬から使えるよう準備している、とのことでした。

四 山畑班長(上司)からの一言

「これ以上はない、というキツい現場からスタートしたが、弱音を吐くことなく、今では何でもこなしてくれるようになった。どうやってモチベーションを維持してもらおうかという点に気を遣っている。」とのことでした。

五 終わりに

今回の取材により、岡本さんの頑張りや向上心、芯の強さなどが伝わってきました。班長からの期待も大きく、ぜひ末永く岡山森林組合でご活躍いただけるよう、当普及指導区としても引き続き支援していきたいと考えています。

(岡山普及指導区 奥村 祐子)



森林研究所だより (令和2年度の主な研究課題)



森林研究所では、林業経営の合理化等に必要の実用的技術に関する試験研究、木材の特性を生かした新しい加工・利用技術の開発に取り組んでおり、森林・林業・木材産業関係者から広く意見を募って、地域の要請に添った試験研究に取り組んでいます。

主な試験研究課題

区分	分野	課題名	年度
林業研究室	育林育種	少花粉スギ等の生育状況調査	H30～R2
		高齢級人工林の資源量推定に関する研究	R元～R3
	森林保護	シカ被害軽減に向けた防除技術の研究	H29～R3
		ナラ類集団枯損についての調査研究	R元～R3
	特用林産	岡山甘栗の栽培技術の確立	H28～R2
		樹木デンプンによる菌根性きのこの人工培養	R元～R3
木材加工研究室	加工技術の開発・改良	香りを評価指標とするヒノキ材人工乾燥条件の検討	R元～R3
		岡山県産材による熱圧処理技術の開発	R元～R2
	木質材料の開発	⑨CLTの新たな分野での利用方法の検討	R2～R4

主な試験研究の概要

【少花粉スギ等の生育状況調査】

生育状況調査

花粉症は国民の3割が罹患していると言われており、県では花粉症発生源対策を重点施策に掲げ、少花粉スギ・ヒノキによる植替えを促進しています。

当研究所では県内に11箇所設置されている少花粉スギ等のモデル林や研究所内の長期試験地において、品種ごとの生育状況や特性を調査しています。

また、少花粉コンテナ苗の育苗試験にも取り組んでいます。コンテナ苗は植栽時期の制約を受けにくく、伐採から植栽までの一貫作業が可能となるなどの利点がある一方で、通常苗木に比べ価格が割高となる欠点があります。このため、緩効性肥料等の施用により育苗期間を短縮し、コスト低減を図る研究を今後も継続して実施することになっています。



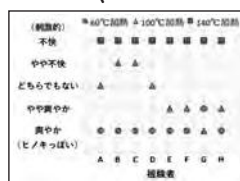
モデル林の生育調査

【香りを評価指標とするヒノキ人工乾燥条件の検討】

ヒノキ人工乾燥条件の検討

本県のヒノキ丸太生産量は、常に全国のトップクラスにあります。このヒノキの特有の香りは、製品価値として認知されており、韓国等への輸出においてもセールスポイントとなっています。

しかし、この香りは木材加工の工程で欠かせない人工乾燥の高温処理により、損失あるいは不快臭へと変質する場合があります。このため、当研究所では香りをより良く残すことが可能な乾燥技術を探り、製品材の付加価値を高めるための研究に取り組んでいます。



昨年年度は、におい識別装置による香りの定性・定量化に取り組む、その測定値が人による官能試験の評価傾向と一致したことから、香りを評価する物差しになる得ることを確認しました。今後、乾燥条件因子が香りに与える影響を調査し、最適な乾燥条件を検討することになっています。

特用林産物の新顔紹介

県内のトリュフ

一 はじめに

当研究所では、アカマツのデン
 プンを利用したマツタケ菌の培養
 や、広葉樹コンテナ苗を利用した
 菌根性きのこ感染苗の育成に取り
 組んでいます。これまでのところ、
 マツタケ菌の菌糸束の形成や（写
 真1）、ホンシメジ感染苗の育成に
 成功しています（写真2）。これま
 で感染苗は、育成に手間が掛かり、
 量産が難しい状況でしたが、細根
 が根鉢に張り巡らされるコンテナ
 苗を用いることで、生産効率が向
 上するのではないかと考え、現在
 量産化に取り組んでいます。ホン
 シメジは、市場での販売に漕ぎつ



写真1 マツタケの菌糸束

けたことから、生産規模の拡大に
 向け、改良を加えています。
 一方、国の森林総合研究所では、
 トリュフの人工栽培を目的とした
 資源調査に取り組んでいます。

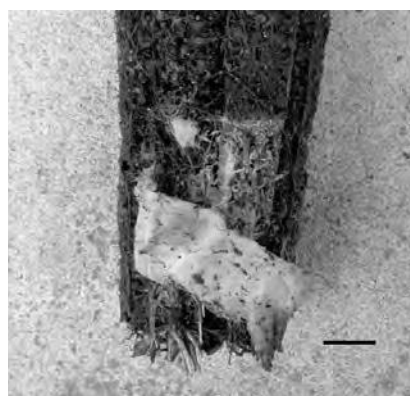


写真2 ホンシメジの感染苗

二 トリュフについて

トリュフは、主にヨーロッパ、
 特にイタリア、フランスで珍重さ
 れる、形がジャガイモに似たきの
 この総称です。感染苗を利用した
 人工栽培も行われ、価格も種類も
 様々ですが、時に話題となる高級
 トリュフ（主に白トリュフ）は、
 栽培も難しく、芳香のレベルも高
 いため、一般の入手は難しいそう
 です。最近では、国内のメディア
 でもトリュフを取り上げる企画も
 増え、トリュフ入りの料理が人気
 を博しています。

なお、黒トリュフは、海苔の佃

煮にタマネギとチーズを少し加え
 たような香りで、味はあまり感じ
 ません。

三 トリュフの発見

国内では、以前から発見事例が
 ありましたが、県内では、平成18
 年に高梁市、21年に新見市の山中
 で黒トリュフが発見されました
 （写真3）。その後、森林総合研究
 所による調査で、新見市のトリュ
 フは、*Tuber himalayense*（和名
 ・アジアクロセイヨウシヨウロ）
 と確認され、食用になることが判
 明しました。トリュフはブナ科樹
 木等の地中に発生しますが、海外
 の高級食材が、実は身近に発生し
 ていたことは、森林の価値を高め、
 新しい視点をもたらします。これ
 まで全国に20種以上のトリュフが
 存在し、新種も発見されています。
 発生場所が地中ということもあり、
 見過ごされてきた国産トリュフで
 すが、森林総合研究所は、引き続
 き感染苗の育成や植栽など、人工
 栽培化に向けた研究を進める予定
 としています。今のところ、発生
 には至っていないものの、一旦成
 功することができれば、栽培の要
 望が一気に高まり、全国各地でト
 リュフの資源探索や、生産の試み
 が始まりそうです。

四 これからの特用林産物

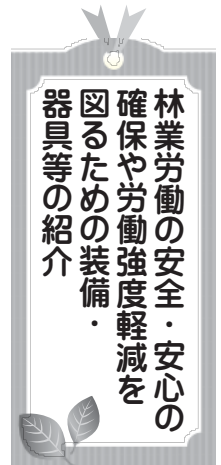
食に対する日本人の嗜好も、随
 分多様化してきました。この背景
 には、海外との交流や交易が盛ん
 になったことが挙げられますが、
 マイナーであった食材も、次第に
 存在感を増してくる……トリュフ
 を見ているとそんな時代が来とい
 ると感じます。海外の多様な食文
 化を取り入れると、日本の山菜や
 ききのこも、一味違う食材として生
 まれ変わる可能性があります。実
 際にインターネットで検索すると、
 新たな発想の料理が沢山見つかり
 ます。これらを参考に、視点を変
 えた特用林産物の利用を掘り起こ
 すことも、県の研究機関の重要な
 仕事と考えています。



写真3 新見市内で発見されたトリュフ

（林業研究室 専門研究員

藤原 直哉）



林業のサイクルを循環させ、森林を適正に管理するためには、林業の担い手の確保・育成が必要です。また、林業の現場作業では危険で過酷な作業もあることから、その対策が必要となっています。

そこで、林業の現場作業での安全・安心の確保や労働強度軽減を図るための装備・器具等を紹介します。

1 伐木作業における安全対策

林業における死亡災害の約6割が伐木作業時に発生しています。

また、チェーンソーによる死傷災害の多くが、チェーンソーの刃の接触によるものです。

昨年8月、伐木作業等を行う場合、切創防止用の繊維が入った防護ズボンやチャップス等の下肢の切創防止用防護衣の着用が義務付けられました。

① 防護ズボン

各メーカーから様々なものが発売されていますが、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」では、切創防止用保

護衣には、前面にソーチェーンによる損傷を防ぐ保護部材が入っており、日本産業規格(JIS) T8125-2に適合する防護ズボン又は同等以上の性能を有するものを使用することとなっています。

一般的に同等以上の性能を有する国際規格としてはISO 11393(国際標準化規格)、EN 381-5(欧州規格)、ASTM F1897(米国規格)等があります。



② 作業員呼び出し装置

伐木作業中などの騒音環境下において、無線で作業員への合図や伝達ができる装置です。ヘルメットに装着し、ヘルメットをキツツキの様にコンコンと叩いて合図を送ることができます。



2 刈払い作業等における

熱中症対策

酷暑の中で行われる刈払い作業は、過酷な作業となり、熱中症等への対策が必要になります。

近年、土木や建設の現場では、熱中症対策として冷却装置付き作業服の普及が進んでおり、快適な状態で作業できることから、生産性の向上にも繋がります。

冷却装置付き作業服は、

バッテリー等でファンを稼働させることで、気化熱の作用を増幅させ、作業服の中の冷却効果を図るものです。実際に着用してみると汗をかく量が減り、疲労軽減にも効果があります。



3 集材作業における

労働強度の低減

① 集材用繊維ロープ

木材の集材作業では、ワイヤーロープをウインチ等で引いて行いますが、ワイヤーロープは、鋼線で重く、急傾斜地での引き回しはかなりの重労働になります。

集材用繊維ロープは同径のワイ

ヤーロープの重さと比べる

と約6分の1と軽量で、強度は同等以上のもので、労働強度の軽減を図ることができます。

② 玉掛けワイヤー荷外し装置 (オートチョーカー)

荷掛けしたスリング等を無線操作により自動で荷外しできる装置で、オペレータが重機から降りることなく取り外すことができますので、集材作業の効率化を図ることができます。



4 導入への助成

岡山県では、認定事業者等がこれらの装備・器具等を導入する際の補助制度を設けています。

詳しい内容は(公財)岡山県林業振興基金(岡山県森林組合連合会内)までお問い合わせ下さい。

TEL 086-225-9382

(普及推進課林業普及推進班)

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける 林業・木材産業者への支援策について

今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、全国の農林水産業等に影響が広がっております。

4月30日、令和2年度補正予算が成立したことを受け、農林漁業者や食品関連事業者の方々が支援の内容を探しやすいウェブサイトに開設されました。このサイトでは、新型コロナウイルス感染症に伴う支援策を、他省庁の支援策も含め、取りまとめられており、支援策の紹介動画も掲載されています。

また、6月12日、令和2年度第2次補正予算が成立し、農林水産関係では、第1次補正予算を補完するため、全ての農林漁業者を対象とした経営継続補助金200億円の創設を始め、総額658億円が措置されました。あわせて、現場の実情を踏まえ、第1次補正予算等の運用改善も実施されています。

なお、「新型コロナウイルス感染症発生時の対応・業務継続に関するガイドライン」につ

いても、業種別に掲載されていますので、そちらも参考にしてください。
(林政課林業木材班・普及指導班)

【農林水産省ホームページ】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html
「事業毎に整理した支援策」→「(1)農林漁業者」→「林業・木材産業者」
- 新型コロナウイルス感染症発生時の対応・業務継続に関するガイドライン
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/ncv_guideline.html
「木材産業者の皆様へ」又は「林業経営体の皆様へ」

【岡山県ホームページ】

- 新型コロナウイルス感染症にかかる農林漁業者への主な支援等
<https://www.pref.okayama.jp/page/665982.html>



集落周辺森林の荒廃状況調査

森林災害を未然に防ぎ、森林の公益的機能を高める森づくりを推進するため、県では、平成25年度から専任の調査員（フォレストレンジャー）による学校等の公共施設や集落周辺などの重要な森林の荒廃状況を調査等を行っています。今回は、フォレストレンジャーの活動内容を紹介します。

フォレストレンジャーは各県民局森林企画課・地域森林課にそれぞれ1名ずつ、県下で計9名が配置されており、バイクを使用して主に次の業務を行っています。

フォレストレンジャーの活動紹介




山火事防止の啓発活動

- ① 集落等の周辺森林の荒廃状況調査
 - ② 松くい虫、ナラ枯れ、野生鳥獣等による被害森林の荒廃調査
 - ③ 山火事防止の啓発活動、山火事跡地の植生回復状況の調査
 - ④ 森林災害等の未然防止パトロール
- 県では、森林災害等につながる情報をいち早く把握した上で、市町村や森林組合などの関係機関と連携しながら、効果的な森林整備を実施することにより、地域住民の皆さんの安心・安全の確保に努めています。
- (治山課 保全班)

技能講習会の開催（8月～9月）


※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	9月10,11日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	8月6,7日、9月3,4日	
		9月5,6日	
	和気	8月27,28日	
	笠岡	9月15,16日	
フォークリフト運転	岡山	8月12日、9月9日	
	和気	9月4日	
	笠岡	9月17日	
伐木（補講イ）	津山	9月8日	
伐木（特別教育）	岡山	9月14,15日	
	新見	8月25,26日	
	津山	9月1,2日	
岡山	8月4日	（実技） 新見9月16日 津山9月3日	
刈払（安全衛生教育）	岡山	8月4日	
	新見	8月6日	
	津山	8月20日	




『森林保険』


岡山県森林組合連合会



「大事な資産を災害リスクから守ります」

加入例： 間伐後加入（3年30%）
 ヒノキ 0.1ha 30～50年生
 保 険 料 832円～ 1,164円
 保険金額 95,400円～135,000円（全損の場合）
 山林復旧の助けとなりますので加入をご検討ください。





平成30年豪雨被害の様子



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
 治山・林道の調査、測量、設計、積算
 森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
 津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

林 産 物 市 況



●木 材 (6月17日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4～1 6	9.5	—	檜	3 m	1 4～1 6	18.5	14
		1 8～2 0	9.5	—			1 8～2 0	16	14
		2 2～2 8	10	—			2 2上	13.5	12.5
	4 m	1 8～2 2	9.5	—		4 m	1 4～1 8	15	14
		2 4～2 8	9.5	—			2 0～2 2	14	13
6 m	1 6～1 8	13	—	2 4～2 8			14	13	
松	3 m	1 8～2 2	10	8	6 m	1 6	23	—	
	4 m	1 8～2 2	11	8		1 8～2 0	27	23	
・出荷材積			約1,400m ³						
(共販所より概況) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>杉概況 3 m・4 mともに相場はやや抑え気味 しばらくの間、安値の状況が続く様子</p> <p>【3m】 【4m】 柱 材 横這い 中目材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>檜概況 3 m・4 mともに構造材は品薄であるが、相場は落ち着いた様子 元木良材も落ち着いた様子</p> <p>【3m】 【4m】 柱 材 横這い 柱 材 横這い 中目材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い 元 木 横這い</p> </div> </div> <p>松概況 品薄だが相場は横這い</p>									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (6月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	50,000 (直送) ～ 55,000 (市場)	
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	50,000 (直送) ～ 55,000 (市場)	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特 等	K	65,000 (無背割) ～	
	正角 3 m 12cm角	特 等	K	63,000 ～ 65,000	
	正角 4 m 10.5cm角	特 等	K	65,000 ～ 68,000	
	正角 4 m 12cm角	特 等	K	65,000	
マ ッ	平角 4 m 10.5～12cm ×15～18cm	一 等	K	75,000	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特 等	G	55,000 ～ 58,000	
	平角 3 m、4 m 10.5 ×15～21cm	特 等	G	55,000 ～ 58,000	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特 等	K	68,000 ～ 70,000	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特 等	K	52,000	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)
TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



「緑の募金」ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約4千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

ほっけー木になる情報

A. 『人材バンク』を
活用下さい

新たな森林管理制度は市町村が中心的役割を果たして森林の適正な経営管理を進める制度であり、県においても森林環境譲与税を活用し、市町村等への支援を総合的に実施しています。

そのひとつに『森林経営管理制度推進人材バンク』があります。

森林管理制度を実施する市町村等の人材確保を支援するため、(公社)おかやまの森整備公社内に無料職業紹介所(人材バンク)を開設し、昨年10月1日から業務を開始しています。

主な業務内容は

- ① 地域林政アドバイザーや業務推進員となり得る人材を募集し、人材バンクへ登録、市町村等の求人先とのマッチング
- ② 求職者に対して必要な実務研修を実施
- ③ 市町村、地域林政アドバイザー、業務推進員の業務に関する

指導・相談対応等
などを行っています。

昨年度は4市町村(求人者)から専門的人材の求人があり、4名の方とのマッチングが成立しています。

「就職を希望される方」

これまでの経験を生かして就職を希望される場合は、おかやまの森整備公社へ申込みをしていただく、希望する業務の内容、勤務条件等についてお聞きした上で、登録を行います。

「求人希望する市町村等」

求人する業務内容、雇用形態・条件等を求人情報として登録を行います。

詳しい内容については、おかやまの森整備公社内 無料職業紹介所(電話0868-28-9075)へお問い合わせ下さい。

ホームページ「おかやまの森整備公社 人材バンク」で検索

おかやまの森整備公社
人材バンク

検索



(林政課森林経営班)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齡樹保護カバー〕くわんたいⅡ

〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他

〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売: 日植アグリ株式会社

販売元: 大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

林声

令和二年七月一日(第四七二号)
(隔月一日発行)

森林・林業施設の紹介

「西栗倉村・あわくら会館」

西栗倉村では新拠点施設として、今の役場の西側(国道を挟んで向かい側)に図書館を核とした生涯学習施設が整備され、「あわくら会館」として、令和2年4月5日に開館しました。



外観

同会館の木材には、主に村産材の杉が使われており、地域の森林資源をふんだんに使った木のぬくもりが感じられる施設となっています。

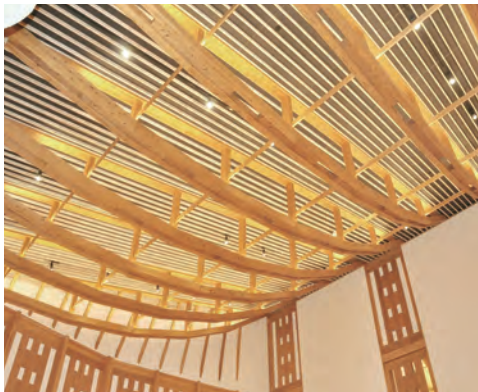
生涯学習として利用される部分は、2階に図書館や会議室が設けられており、吹き抜け部分には「百森ひろば」として読書、展示、

スポーツなど多目的に利用できるスペースが整備されています。

同村では、この施設と一体的に新庁舎及び議場兼ホールなどを建設することとしており、完成は来年の春の予定です。

地域の森林資源を有効に活用した拠点施設として、完成が待ち望まれています。

(勝英普及指導区 福見 照芳)



百森ひろばの天井(張弦梁)



百森ひろばの内観

編集
発行

〒700-0866 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区岡南町二一五一一〇

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録: CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」



CT-500C

GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。